

令和4年3月1日

北西中学校保護者の皆様へ

甲府市立北西中学校
校長 須田 浩孝

学校評価アンケート

昨年末に、本年度の学校経営の重点について生徒・保護者の皆様にアンケート調査をお願いしました。その結果がまとまりましたのでお伝えします。

アンケート方法と結果の処理

本校で今年度重点的に取り組んだ内容についてアンケートを実施しました。アンケートの選択肢は4段階として、肯定か否定のどちらかの答えを選んでいただき、課題がはっきりと示されるようにしました。「そう思う」「ややそう思う」の肯定率が90%を上回った項目は「良好」と判断して、80%を下回った項目は「確認・改善」として扱うこととしました。

考察に関しては、本来ならば学校関係者評価会議を開催し検討していただくのですが、コロナ禍のため実施ができませんでしたので、校内教職員による考察としてまとめを行いました。

相互比較表	項目	教師	生徒				保護者全体
			全体	1年	2年	3年	
設問 1	授業(基礎基本の定着・わかる授業)	100	99	98	90	97	92
設問 2	授業(主体的・対話的な学習)	100	91	90	97	87	
設問 3	家庭学習の習慣化	88	66	71	66	59	61
設問 4	いじめ防止	100	97	97	97	99	86
設問 5	望ましい人間関係の構築	100	97	98	99	95	92
設問 6	相談体制の構築	96	92	90	96	88	93
設問 7	道徳教育	96	95	95	96	93	89
設問 8	非認知能力の育成	100	96	95	97	96	80
設問 9	豊かな心を育てる活動(合唱・読書等)	100	99	100	100	97	88
設問 10	あいさつ	64	86	87	86	85	84
設問 11	防犯・防災・交通安全指導	88	96	95	96	97	93
設問 12	健康・体力の向上	80	89	92	91	83	90
設問 13	個に応じた合理的な配慮	88	98	97	100	97	80
設問 14	学校での感染症対策	100	99	98	99	99	94
設問 15	学校開放 (コロナのため開放せず)	100					
設問 16	学校経営方針	100					82
設問 17	教職員の連携・協調した実践と学校運営の満足度	96	100	100	100	100	91

※肯定的な回答の値(%)

結果の分析

a 全体の概要

アンケート結果を達成率で相互比較表として示しました。肯定率が90%を上回った項目には良好として青の色掛けで示し、80%を下回った項目には確認や改善が必要として赤文字で示しました。その結果、青の色掛けが部分の割合が多く見られ概ね良好だと判断されます。コロナ禍においても学校に来校できる活動形態を模索しつつ、HP やお便りを使って情報を正確かつ適時に発信し、学校を知ってもらう機会をつくっていきたいと考えます。

b 検討が必要な項目について

① 「あいさつ」について

挨拶については、教師の評価が一番厳しい結果でした。

コロナ禍での長期にわたるマスク生活は、生徒の表情を覆い隠してしまい、大きな声を出さない限り【さわやかな挨拶】をしているかどうか判断できない現状があります。肯定意見が高い生徒の中にも【挨拶が不十分である】と考える生徒もおり、北西中の3大文化のひとつとして【挨拶】があるため生徒会選挙の公約でも取り上げられるほど意識は高いです。挨拶は人間関係をつくる土台となるものなので、今後も日常での取り組みや挨拶運動を通して生徒会活動を活性化させながら、生徒とともに継続して行っています。

② 「家庭学習の習慣化」について

生徒の「自発的」「継続的」な家庭学習の取り組みには、家庭との連携も重要であり、定期テストの際の学習計画表の作成と実践の取り組み、家庭学習の充実を図るための課題の工夫、さらに生徒の自発性を高め、自分にあった課題設定行い学習につながることを目指した自主学習ノートの取り組み等を引き続き取り組み、各家庭には見守る体制づくりを強くお願いしたいです。さらに小学校段階からの家庭学習の定着に向けた連携もはかる必要があることから、小学校との情報交換も密に取り組みます。

記述部分の概要・分析

記述部分では、多くのご意見をいただきました。関心が高かった内容としては、【校則】に関するもの、【学習】に関するものです。【校則】に関しては、時代の変化にともない校則の見直しを検討していく必要はあると思います。しかし、そのためには、校則を簡単に変えてしまうのではなく、何を目的とした校則なのかを、教職員、保護者、生徒が共有しながら検討していくことが必要であり、来年度取り組んでいきたいと考えています。

【学習】に関する内容では、『わかる授業・楽しい授業』の構築は、教職員の責務であり、学校内で一番力を入れる部分であるので、今以上に修養を積み、引き続き生徒、保護者の期待に応えていきます。特に、コロナ禍で制限がある授業展開を強いられており、『主体的・対話的で深い学び』を構築することが難しいこと、また、ICT 活用に関してもまだまだ道半ばなので、オンライン学習を含め、ICT を有効活用し、『生徒の主体的な学び』になるよう教職員でスキルを高めていきたいと考えています。

※今後さらに具体的な改善策や取り組みを検討し、来年度以降の学校経営に反映させていく予定です。ご協力をありがとうございました。